

6. 単元指導計画

【前単元までに身に付けてきた内容】  
【今後の学習へのつながり】

**3年生 小数の意味や表し方**  
・端数部分の大きさを表すのに少数を用いること。また、小数の表し方及び10分1の位について理解している。  
**3年生 小数の加法・減法**  
・10分の1の位までの小数の加法及び減法について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができる。

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数も整数と同じく十進法であることの理解を深め、小数を正しく用いようとしている。</li> <li>・1000分の1の位までの小数の表し方や大きさについてカードや数直線図を使って、理解しようとしている。</li> <li>・自分の考えを話したり、仲間の考えを聞いたりするなど進んで交流活動に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10分の1に満たない数の表し方について、数直線図やブロックを使って考えを進めている。</li> <li>・100分の1, 1000分の1の小数の加法や減法の仕方を考える場合について、10分の1の位までの小数の加法や減法の計算手順をもとに考えを進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1000分の1の位までの小数について、小数点の位置を適切に取り表すことができる。</li> <li>・1000分の1の位までの小数の加法や減法の計算をすることができる。</li> <li>・筆算を使って正しく計算することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100分の1や1000分の1を単位とした小数は、10分の1の単位に満たない数の大きさであることを理解している。</li> <li>・100分の1や1000分の1の位の小数の加法や減法も、小数点をそろえて位ごとに計算すればよいことを理解している。</li> </ul>

【本単元の評価規準】

**小学4年生「小数と整数のかけ算・わり算」**  
・小数×整数、小数÷整数の計算原理と筆算  
**小学5年生「整数と小数」**  
・整数と小数の統合的な見方  
**小学5年生「小数のかけ算」**  
・小数をかける計算の原理と筆算  
**小学5年生「小数のわり算」**  
・小数でわる計算の原理と筆算

次	1 小数の表し方			2 小数と整数のしくみ		
時	1	2	3	4	5	6
ねらい	100分の1の位までの小数を表したり、読んだりする。	100分の1の位までの小数を用いて、m単位で長さを表す。	1000分の1の位までの小数を表したり、読んだりする。	0.001までの大きさを理解し、小数も十進法のしくみになっていることに気付く。	小数のしくみについて理解し、小数の各位の名称について知る。	小数を相対的な大きさを表したり、大小を比較したりする。
数学的活動	図を用いて、100分の1の位の小数の表し方を考え、表現する活動	cmで表された長さを、小数を用いてmで表現する活動	mで表された長さを、小数を用いてkmで表現する活動	方眼図を用いて、1の位から1000分の1の位の関係を確認する活動	単位とする数の幾つ分と見て、位ごとの仕組みを確認する活動	数直線を用いて、小数を相対的に表現したり、小数の大小比較を考察したりする活動
学習内容	<p><b>本時の基盤となる学習内容を確認する。</b> ○1を10等分した数について確認する。 <b>問題を提示する</b> ○教科書 P.67の問題を提示する。 ・場面について話し合う。 →1. 3Lとあと少しの量を考える。</p> <p><b>課題</b> 0.1より小さい数はどのように表したらよいだろうか。</p> <p><b>&lt;個人追究&gt;</b> ○1を10等分した数が0.1となることから0.1より小さい数の表し方について図を用いて考える。 <b>&lt;全体追究&gt;</b> ○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。 ○0.1をさらに10等分することで0.1より小さい数も表すことができる。 <b>まとめる</b> 0.1をさらに10等分した数を0.01と表すことができる。れい点れいいちと読む。</p>	<p><b>本時の基盤となる学習内容を確認する。</b> ○0.01は0.1を10等分した数であることを確認する。 <b>問題を提示する</b> ○教科書 P.69の問題を提示する。 ・場面について話し合う。 →1mに満たない長さをmで表す方法について考える。</p> <p><b>課題</b> cmをmで表すにはどのようにしたらよいだろうか。</p> <p><b>&lt;個人追究&gt;</b> ○巻き尺の図を用いて、10cmは1mのどれだけにあたるのかを考える。 <b>&lt;全体追究&gt;</b> ○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。 ○10cmは1mの10分の1であり、0.1cmと表すことができる。 <b>まとめる</b> 1mを10等分した長さの10cmは、0.1mと表せばよい。</p>	<p><b>本時の基盤となる学習内容を確認する。</b> ○小数を使うことで、cmをmで表すことができたことを確認する。 <b>問題を提示する</b> ○教科書 P.70の問題を提示する。 ・場面について話し合う。 →kmの単位とmの単位との対応関係について考える。</p> <p><b>課題</b> mをkmで表すにはどのようにしたらよいだろうか。</p> <p><b>&lt;個人追究&gt;</b> ○cmを小数を用いてmで表したように、1kmに満たない長さも小数を用いてkmで表す方法を考える。 <b>&lt;全体追究&gt;</b> ○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。 ○1mをkmで表す時、0.01をさらに10分の1した数0.001という数になる。 <b>まとめる</b> 0.01をさらに10等分した数を0.001といい、1mは0.001kmと表せばよい。</p>	<p><b>本時の基盤となる学習内容を確認する。</b> ○1000分の1の位を0.001と表すことを確認する。 <b>問題を提示する</b> ○教科書 P.71の問題を提示する。 ・場面について話し合う。 →1の位から1000分の1の位の数の間にある大小関係について考える。</p> <p><b>課題</b> 1の位から1000分の1の位の数の関係はどのようなしくみだろうか。</p> <p><b>&lt;個人追究&gt;</b> ○方眼図をもとに、1, 0.1, 0.01, 0.001の数のしくみから位の変わり方について考える。 <b>&lt;全体追究&gt;</b> ○方眼図を使って考えを説明する。 ○1それぞれの数は10分の1するごとに位が一つ下がり、10倍するごとに位が一つ上がる。 <b>まとめる</b> 0.1が10こで1になるように、0.01や0.001もそれぞれ10こ集まることで位が一つ上がるしくみになっている。</p>	<p><b>本時の基盤となる学習内容を確認する。</b> ○小数の大小関係は、10倍や10分の1の関係にあったことを確認する。 <b>問題を提示する</b> ○教科書 P.72の問題を提示する。 ・場面について話し合う。 →42.195を構成する数について考える。</p> <p><b>課題</b> 42.195をつくる数の集まりは、どのようにつらわれているだろうか。</p> <p><b>&lt;個人追究&gt;</b> ○小数42.195のそれぞれの位の数字が表す大きさについて考える。 <b>&lt;全体追究&gt;</b> ○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。 ○10の位から1000分の1の位までのそれぞれの位の数を合わせて42.195となることを表すことができる。 <b>まとめる</b> 小数は、位ごとの数が集まることで、たし算のようにつらわれている。</p>	<p><b>本時の基盤となる学習内容を確認する。</b> ○小数は位ごとの数が集まることで構成されていることを確認する。 <b>問題を提示する</b> ○教科書 P.73の問題を提示する。 ・場面について話し合う。 →1.25の構成を0.01をもとにして考える。</p> <p><b>課題</b> 1.25について、0.01をもとにすると、いくつ分と考えられるだろうか。</p> <p><b>&lt;個人追究&gt;</b> ○1.25は1, 0.2, 0.05をあわせた数であることから、数直線を用いてそれぞれの数が0.01をいくつ集めた数であるかについて考える。 <b>&lt;全体追究&gt;</b> ○数直線を使って考えを説明する。 ○それぞれの数は0.01を、1は100こ、0.2は20こ、0.05は5こあわせた数であると表すことができる。 <b>まとめる</b> 125個分と考えることができる。小数は、一つの位の数の集まりとしても考えることができる。</p>
評価問題	・0.01Lを10個集めたかさは、何Lになるでしょう。	・3m6cmを、mを単位として表しましょう。	・6403gは何kgでしょう。	・0.001の100倍、1000倍の数をそれぞれ書きましょう。	・5.963の5と6はそれぞれ何の位でしょう。	・0.001を386こ集めた数をいみましょう。また、2598こ集めた数をいみましょう。
評価規準	◎関:100分の1の位までの小数を既習の小数のしくみに基づいて調べようとしている。 ○知:水かさについて、100分の1の位までの小数を用いて表す方法や読み方を理解している。	◎技:長さに関する測定値について100分の1の位までの小数で表したり、読んだりすることができる。	◎技:具体的な測定値について1000分の1の位までの小数で表したり、読んだりすることができる。	◎知:小数は整数と同じように十進法のしくみになっていることを理解している。	◎知:「100分の1の位(小数第二位)、1000分の1の位(小数第三位)」の用語と意味を理解している。 ○技:1000分の1の位までの小数を、単位とする小数のいくつ分とみて、加法的に表すことができる。	◎技:小数の大きさを0.01や0.001をもとにして相対的に表すことができる。 ○知:小数の大小の比べ方を理解している。
手立て支援の	・10分の1についての理解が十分でない。 ⇒直方体ブロックを使って、ブロックが10個集まって1になることから、10等分について復習し、100分の1へつなげる。	・小数を使ったmの表し方が理解できない。 ⇒1mが100cmであることを確認し、10分の1は10等分であることから1mの10分の1について考える。	・100分の1のさらに10分の1が理解できない。 ⇒1mは0.001kmであることを確認し、9mは1mの9つ分であることから0.009kmと導く。	・十進法が理解できない。 ⇒1が10個で10の位、つまり位が一つ上がるのと同じように、小数も10個同じ単位の小数が集まれば単位が変わることを再度おさえる。	・位ごとの表を埋められない。 ⇒整数42195に置き換えてそれぞれの位の数について考えさせる。	・小数の大小の見当がつかない。 ⇒数直線の性質を振り返り、右に行くほど数は大きく、左に行くほど数は小さくなることを確認する。

太字:教師の働きかけ <>:児童の活動 わ:かっていること

次	練習	3 小数のたし算とひき算				まとめの練習
時	7	8(本時)	9	10	11	12
ねらい	基本的な学習内容について習熟し、それを活用する。	小数の加法の計算の仕方を考える活動を通して、計算の原理や手順を理解し、整数と同じように位を揃えて計算することができる。	小数点以下の桁数が異なる加法や、答えの末尾が0の加法の処理の仕方を理解する。	小数の減法の計算原理を小数のしくみから理解し、説明する。	小数点以下の桁数が異なる減法や、答えの末尾が0の減法の処理の仕方を理解する。	基本的な学習内容を理解し、それを活用する。
数学的活動		100分の1の位の小数の加法の計算原理を既習内容を活用し、説明する活動	小数点以下の桁数が異なる加法の計算の仕方や、答えの末尾が0になる加法の処理の仕方を確かめる活動	100分の1の位の小数の減法の計算原理を既習内容を活用し、説明する活動	桁数がふぞろいな小数の減法の計算の仕方を確かめる活動	
学習内容	<p>本時の基盤となる学習内容を確認する。</p> <p>○小数の表し方やしくみについて学習してきたことを確認する。</p> <p>問題を提示する</p> <p>○教科書 P.74の問題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>課題 小数をいろいろな考え方で表そう。</p> </div> <p>&lt;個人追究&gt;</p> <p>○「それぞれの位の数の個数を調べる」(第5時)、「0.01をもとにする」(第6時)の考え方を活用し、小数を構成的に捉えることができる。</p>	<p>問題を提示する</p> <p>○教科書 P.75の問題を提示する</p> <p>本時の基盤となる学習内容を確認する。</p> <p>○小数は、それぞれの位の数の個数やもとのする小数がいくつ集まった数かで表すことができることを確認する。</p> <p>・場面について話し合う。</p> <p>→1. 23+4. 75と立式し、100分の1の位の小数のたし算の計算方法を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>課題 100分の1の位の小数のたし算はどのように計算したらよいだろうか。</p> </div> <p>&lt;個人追究&gt;</p> <p>○①0.01をもとにした見方、②それぞれの位をたす、③筆算の計算から100分の1の位の小数のたし算の計算のしかたを考える。</p> <p>&lt;全体追究&gt;</p> <p>○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。</p> <p>○桁数が異なる小数の加法は、小数点の位置を揃えて筆算の計算をし、同じ位同士の数を計算することで答えを出すことができる</p> <p>まとめる</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>筆算は小数点の位置をそろえて書き、同じ位どうしを計算すればよい。</p> </div>	<p>本時の基盤となる学習内容を確認する。</p> <p>○小数の加法は、整数のたし算と同じように、同じ位同士の数を計算できたことを確認する。</p> <p>問題を提示する</p> <p>○教科書 P.77を提示する。</p> <p>・場面について話し合う。</p> <p>→桁数が異なる小数の加法の計算のしかたについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>課題 けたの数がちがう小数どうしのたし算はどのように計算したらよいだろうか。</p> </div> <p>&lt;個人追究&gt;</p> <p>○①0.01をもとにする、②位ごとに足す、③筆算の計算から小数同士のたし算の計算のしかたを考える。</p> <p>&lt;全体追究&gt;</p> <p>○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。</p> <p>○桁数が異なる小数の加法は、小数点の位置を揃えて筆算の計算をし、同じ位同士の数を計算することで答えを出すことができる</p> <p>まとめる</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>筆算は小数点の位置をそろえて書き、同じ位どうしを計算すればよい。</p> </div>	<p>本時の基盤となる学習内容を確認する。</p> <p>○小数は、それぞれの位の数の個数やもとのする小数がいくつ集まった数かで表すことができることを確認する。</p> <p>問題を提示する</p> <p>○教科書 P.78の問題を提示する。</p> <p>・場面について話し合う。</p> <p>→4. 56-1. 35と立式し、小数と小数のたし算の計算方法を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>課題 4. 56-1. 35(小数の引き算)はどのように計算したらよいだろうか。</p> </div> <p>&lt;個人追究&gt;</p> <p>○既習事項の①0.01をもとにする、②位ごとにひく、③筆算の計算から100分の1の位の小数のひき算の計算のしかたを考える。</p> <p>&lt;全体追究&gt;</p> <p>○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。</p> <p>○小数の減法は、整数のひき算と同じように、同じ位同士の数を計算することで答えを出すことができる。</p> <p>まとめる</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>小数のひき算は、同じ位どうしの数を計算すればよい。</p> </div>	<p>本時の基盤となる学習内容を確認する。</p> <p>○小数の減法は、整数のひき算と同じように、同じ位同士の数を計算できたことを確認する。</p> <p>問題を提示する</p> <p>○教科書 P.79の問題を提示する。</p> <p>・場面について話し合う。</p> <p>→桁数が異なる小数の減法の計算のしかたについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>課題 けたの数がちがう小数どうしのひき算はどのように計算したらよいだろうか。</p> </div> <p>&lt;個人追究&gt;</p> <p>○①0.01をもとにする、②位ごとにひく、③筆算の計算から小数同士のひき算の計算のしかたを考える。</p> <p>&lt;全体追究&gt;</p> <p>○それぞれの考えを説明する。考え方のよさを話し合う。</p> <p>○桁数が異なる小数の減法は、小数点の位置を揃えて筆算の計算をし、同じ位同士の数を計算することで答えを出すことができる</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>筆算は小数点の位置をそろえて書き、同じ位どうしを計算すればよい。</p> </div>	<p>本時の基盤となる学習内容を確認する。</p> <p>○小数の表し方やしくみについて学習してきたことを確認する。</p> <p>問題を提示する</p> <p>○教科書 P.80の問題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>課題 小数のいろいろな問題がとけるようにしよう。</p> </div> <p>&lt;個人追究&gt;</p> <p>・図や表を使って考える。</p>
評価問題	・9. 58について考えてみましょう。	・次の計算をしましょう 2. 41+1. 26	・次の計算をしましょう 5. 74+2. 6 3. 69+2. 81	・3. 67kmのマラソンコースを2. 42km走りました。残りの距離は何kmになるでしょう。①②③の考えから一つ選んで、ペアで説明し合ひましょう	・次の計算をしましょう 15. 84-6. 5 1. 2-0. 58	
評価規準	◎知: 1000分の1の位までの小数の表し方、しくみ、相対的な見方を理解している。 ○技: 小数の大きさを0.01や0.001をもとにして相対的に表すことができる。	◎考: 小数の加法の計算のしかたを既習事項をもとに考えている。 ○技: 1000分の1の位までの小数の加法の計算ができる。 ○知: 1000分の1の位までの小数の加法の計算原理を理解している。	◎技: 小数点以下の桁数が異なる加法や答えの末尾が0の加法の計算が筆算でできる。 ○関: 1000分の1までの小数の加法の計算のしかたを意欲的に考えようとしている。	◎考: 小数の減法の計算のしかたを既習事項をもとに考えている。 ○技: 1000分の1の位までの小数の減法の計算ができる。 ○知: 1000分の1の位までの小数の減法の計算原理を理解している。	◎技: 1000分の1の位までの小数の減法の計算を筆算でできる。 ○関: 1000分の1までの小数の減法の計算のしかたを意欲的に考えようとしている。	◎技: 1000分の1の位までの小数の表し方を理解し、加法と減法ができる。
手立て支援の	・練習問題が解けない。 ⇒対応する時間のページに戻り、数直線やブロックなどを使って知識の定着を再度図る。	・考えを持つことができない。 ⇒小数の仕組みを示し、基となる考え方に気付かせる ⇒位取りのヒントカードを提示する。	・1. 9を1. 900と表記する。 ⇒0の意味について考えさせる。「数がない」という思考から表記の必要がないことを気付かせる。	・3つの考えから選択できない。 ⇒考え方の道筋が書かれた穴埋め式ヒントカードを渡す。	・計算の見通しが立たない。 ⇒加法の際に、位をそろえて計算したことを想起させ、概数の知識からおよその数の見積もりを持たせる。	・練習問題が解けない。 ⇒対応する時間のページに戻り、数直線やブロックなどを使って知識の定着を再度図る。